



エネルギーにまつわる問題に答えると全国ご当地の名産品がもらえるクイズラリー



スパイシーな香りに、通る人も思わず足を止めてしまうチキン・ソーセージを販売するお店



人気を集めた「農家の刺客」のジェラート。木造高校の生徒たちが販売をサポート



4月22・23日、春まつり(つがる市・つがる市観光物産協会共催)が平滝沼公園で開催されました。

全国的に桜の開花が記録的な早さとなった今年。公園内のソメイヨシノは見頃を過ぎ葉桜になっていましたが、ステージショーや出店、クラフトフェアを楽しむ多くの家族連れや友人同士などでにぎわいを見せていました。新型コロナウイルス対策の規制が緩和されたこともあって、公園内ではレジャーシートを広げて食事や会話、お昼寝を楽しむ人々も。ステージショーでは、吹奏楽や園児による踊り、よさこいソーラン、歌謡・民謡、舞踊など、さまざまなパフォーマンスが観客を魅了しました。

五所川原市の金木地区から訪れた親子は「クラフトフェアのお店の数多く、食べ物だけでなくワークショップができるお店もあって楽しい」と笑顔で話しました。



熱の入った津軽民謡など披露した佐々木一座・本間愛音さん



しげた保育園の園児たちの愛らしいダンスにほっこり



子どもたちに人気を博したシャボン玉遊びコーナー



レジャーシートを広げて思い思いの時間を過ごす人たち



よさこいチーム「女舞姫」と「知求群会」が一緒になって演舞を披露



木造高校吹奏楽部の力強く息の合った演奏

行政相談委員を退任された鎌田氏に総務大臣感謝状

4/19
市役所

令和5年3月31日をもって行政相談委員を退任された鎌田常芳氏に、総務大臣感謝状が贈呈され、この日伝達式が行われました。

鎌田氏は、平成29年4月1日に委嘱されて以来、6年にわたり行政相談委員として、市民と行政の橋渡し役を務められました。任期中は、合計77回の相談所を開設し、市民から行政に対する苦情や要望などの相談を受け付け、その解決にご尽力いただきました。

「受けた相談がもめごとにならずに、うまく解決に導けたのでは」とこれまでを振り返る鎌田氏。倉光市長は「地域のことをよく知っている方なので、相談に来た人の状況を的確に把握し、しっかりくみ取ってくれた」と謝意を述べました。



感謝状の伝達を受けた鎌田氏(中)と青森行政監視行政相談センター高橋顕宏所長(右)

「小さな親切」運動県本部が車いすを寄贈

4/20
市役所



倉光市長に目録を手渡す鹿内常務執行役員

「小さな親切」運動青森県本部(本部長・成田晋青森銀行取締役頭取)が、伊藤鉱業アリーナつがるで活用してもらいたいと、市にアルミ製車いす1台を寄贈しました。「小さな親切」運動は、昭和38年から全国で始まり今年で60年を迎えます。県本部では、県内全域での清掃活動や車いす寄贈運動を実施。本市に寄贈された車いすは136台目になります。

この日、市役所を訪れた青森銀行鹿内勲常務執行役員は「心のかよう、あたたかな社会づくりのため、身体の不自由な方やお年寄りの方々にぜひともご活用いただければ」と述べ、倉光市長に目録を手渡しました。倉光市長は「バリアフリー設計の体育館で、車いすを活用して心地よい利用に努めたい」と感謝しました。

自分たちの地域をきれいに

車力警察官駐在所連絡協議会(松橋俊造会長)主催の「第20回クリーン作戦in車力」が行われました。3年ぶりとなったごみ拾いには、同協議会に加え、車力交通指導隊員や市防犯指導隊車力支隊員、車力中学生など約60人が参加。むらおこし拠点館「フラット」周辺では、道路脇に捨てられた大量の空き缶やペットボトルなどを拾い集めました。

ごみ拾いに参加した車力中3年生の工藤柚稀さんは「かなりごみが多かった。きれいな地域のために、ごみを捨てないでほしい」と話しました。



道路のあちこちに捨てられたごみを拾う生徒たち

各地で活発に清掃活動

4月24日、25日の2日間にわたって県立森田養護学校高等部の生徒や地域学校協働活動に取り組む「森養ひまわり応援隊」のメンバーなどが、地域をきれいにしようとしてごみ拾いを行いました。

この日は、約30人が、つがる地球村周辺の道路脇に落ちていた空き缶やたばこの吸い殻などを丁寧に拾い集めていました。

4/25
地球村周辺



道路の隅々まで確認し小さなごみも見逃さない生徒たち